



柏崎ユニバーサルツーリズムセンター

押見 敏昭

OSHIMI TOSHIAKI

1965年 柏崎市西山町出身
 2017年 NPO法人地域活動サポートセンター
 柏崎のスタッフとして勤務
 2019年 柏崎ユニバーサルツーリズムセンター
 (以下通称 柏崎UTC)の事業開始、
 現在に至る

「NPO法人地域活動サポートセンター柏崎」の事業の一つとして、2019年に柏崎UTCの事業を開始した押見敏昭さん。ユニバーサルツーリズムとは、高齢や障がい等の有無にかかわらず誰もが気兼ねなく行きたい場所に行き、安心して楽しめる環境を整えようという取り組み。柏崎の魅力を楽しみ、観光にも対応しているまちだということを発信して、柏崎全体の活性化につなげたいと活動を行っている。

押見さんは市内西山町出身。ツアーコンダクターとして経験を積み、約20年間東京観光専門学校の講師としても活躍した。2000年に介護保険制度が始まり、「福祉トラベル」の専攻を立ち上げカリキュラムを授業に導入した。実習で最初に対応したのは目の不自由な方の旅行。見える景色を言葉でどの程度伝えるのか、車椅子で入れるのか入れないのか、常に下調べが必要で奥深い体験だったと振り返る。

柏崎に戻るきっかけになったのは2014年に亡くなった兄の存在。がんを患い車

椅子で生活していた兄が松雲山荘へ行ってみたいということで一緒に出掛けたが、砂利が敷かれた道では車椅子が進まず車輪を持ち上げながら坂道を登った。その時の経験が、今の自分のやるべきことにつながっているという。

2019年の事業開始から行っているのは市内のバリアフリー情報の共有と発信。市内の店舗や施設へ実際に出向き、バリアフリーの実態や改善点を地元大学の学生や車椅子で生活している方にも同行してもらい調査。その内容をホームページにまとめ、柏崎のバリアフリー情報が検索できるシステムを日本ユニバーサルツーリズム推進ネットワークの全国マップとも共有。さらに市の観光協会とも連携を取り、バリアフリー対応や情報発信に取り組む「心のバリアフリー認定制度」の対象施設の支援も行っている。

柏崎UTCでは、車椅子の利用でも柏崎の観光を楽しめるツアー「チェア旅」を地元旅行会社と企画。旅サポーター養成講座を行い同行するボランティアを育成し、市民大学の講座にて活動を周知。砂利道や芝生などでも車椅子に装着して楽に走行できるAQURO(アクロ)や砂浜でも走行可能なJINRIKI(ジンリキ)の貸出しとサポートする体制を整え、実際に車椅子での観光や海水浴などに利用してサポートを行っている。

皆の心の中にある「なんとかしてあげよう」という気持ちを増やし、柏崎に心のバリアフリーを根付かせていきたい、と話す押見さん。今後は、小中学校での出前授業や相談業務にも力を入れていきたいと笑顔を見せた。



お問い合わせ

柏崎ユニバーサルツーリズムセンター (通称 柏崎UTC)
 (NPO法人 地域活動サポートセンター 柏崎内)

柏崎市東本町1-16-12 2F

☎ 0257-47-7229

☎ 0257-47-7744

✉ tsc-ks3@kisnet.or.jp



WEB



Facebook